

vol. 25

ふれあいネットワーク

冬期号
2016 2.1発行

南アルプス市 社会福祉協議会

社協だより



二色
茶巾しぼり

柿ようかん

生きがいと健康づくり推進事業で
行っている健康料理教室です。

特集

南アルプス市のいま ~あなたの気づきが最初の一步~
災害時に大切なことは…!!
~普段のお付き合いから生まれる「絆」を大切に~

みなさまからいただいた社協会費と共同募金は さまざまな福祉事業に使われています

今年度も多くの市民のみなさまには、社協会費ならびに共同募金にご協力いただき誠にありがとうございます。

南アルプス市社会福祉協議会では基本理念である「わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち」を進めていくために、お寄せいただいた社協会費や共同募金を、社会福祉事業の財源として様々な事業に活用させていただきます。



平成27年度 社協会費中間報告

地区	金額(円)
八田	1,706,000
白根	4,848,300
芦安	111,000
若草	2,639,000
櫛形	4,514,000
甲西	3,014,000
その他	3,000
合計	16,835,300

(平成27年12月10日現在)

平成27年度 赤い羽根共同募金中間報告

募金種別	金額(円)	説明
家庭募金	9,360,744	自治会長・組長さんのご協力で、市内の各世帯へお願いしたものです。
街頭募金	89,214	ボランティアさんのご協力を得て、店頭や社協のイベント等で行った募金です。
大口募金	2,101,677	民生委員さんにご協力いただき、市内の企業・団体からいただいた募金です。
職場募金	810,459	事業所・職場等で行われる自発的な募金です。
学校募金	180,904	市内の小・中学校の児童会、生徒会による自発的な募金です。
自動販売機募金	12,662	市内に設置された自動販売機の売上の一部を募金としていただいています(設置場所:テイクサービスゆうかり、テイクサービスセンターわかくさ)
合計	12,555,660	

(平成27年12月22日現在)



福祉運動会



ふくし勉強会
ザ・ノンフィクション南アルプス～現実のふくし～



街頭募金

その他にも多くの事業が行われています

- ボランティア事業 ● ボランティア団体育成事業 ● あったかサービス事業 ● 地域特別事業
- 一次相談事業 ● 福祉標語ポスター募集事業 ● みんなで地域をよくする事業 ● 歳末助け合い事業
- 通院サービス事業 ● 広報誌(ボランティア情報、社協だより)発行事業
- 社会福祉大会開催事業 ● ほか

♥今年度も皆さまから多くの善意をいただきました。ありがとうございます♥

平成27年度 小中学校福祉標語・ ポスター入賞者

敬称略

◎標語の部



特選 若草南小4年 曲山 正優
『使ってね つえのかわりに ぼくの手も』



入選 若草南小6年 井口 心愛
『「大丈夫」手をさしのべた みんなの手』



入選 白根百田小5年 清水 美保子
『さしのべて 周りに広がる あなたの手』



入選 若草中3年 厚芝 寧々
『奉仕活動 地域も心も ピッカピカ』

◎ポスターの部



『南アルプスあめんぼの会』・『甲西折り紙ボランティア』が厚労大臣表彰を受賞しました!

平成27年度厚生労働大臣表彰

南アルプスあめんぼの会は、毎月、市広報誌の録音を行い、視覚障害者へテープをお届けする活動を続けています。

甲西折り紙ボランティアは、季節を感じる折り紙を制作し、独居高齢者、老夫婦世帯等へ配布されるおやつサービスに添える活動や、各地域の行事や施設などへの訪問活動を行っています。両団体の活動が認められ今回の受賞となりました。どちらの活動も皆さまから大変喜ばれており、この受賞を機に今後ますます充実した活動を続けていかれることを期待しています。おめでとうございます!!



南アルプス
あめんぼの会



甲西折り紙ボランティア

第12回南アルプス市社会福祉大会を開催しました

平成27年11月15日(日) 櫛形生涯学習センターあやめホールにおいて、第12回南アルプス市社会福祉大会を開催いたしました。

第一部式典では、今日まで社会福祉の発展に功績のあった個人・団体表彰、平成27年度福祉標語・ポスター入賞者表彰および金婚祝い記念品贈呈を行いました。

第二部では、災害防災ボランティア若草地区連絡会による『震度6! その時』と題した公演が行われ、隣近所と関係づくりができていて、災害がおきても心強いことを改めて感じさせられました。



社会福祉の発展に功績のあった個人・団体表彰

(順不同・敬称略)

●民間社会福祉施設・団体役員功労

四ノ宮 照子 乙顔 洋美 保坂 ますか 新藤 愛美
小林 弘幸 小林 陽一 窪田 陽子 細田 美紀

●社会福祉協議会役員功労

金丸 ミツ子

●社会福祉活動功労

録音・朗読ボランティアはなみずきの会 手話ステップゆうあい

●介護功労

佐藤 一美 河野 花江

●金品寄付・労力提供(個人)

藤巻 宏憲 秋山 正弘 飯野 登喜夫 森山 ひろ子
深澤 庄一郎 丹澤 元和

●金品寄付・労力提供(団体)

有限会社イイノステンレス
妙善寺
白根ボランティアの会
櫛形環境とリサイクルの会
南アルプス市体育協会社交ダンス部
明るい社会づくり運動協議会
南湖報徳社
花扇流菊乃会
トヨタ自動車東日本労働組合
マックスバリュ東海株式会社

特選



櫛形中1年
進藤 美空

入選



櫛形中1年
村松 李香

入選



八田小4年
清水 寿輝

入選



櫛形中3年
熊谷 真理衣



南アルプス市のいま！

私たちの住む南アルプス市にも、気になることがたくさんあります。『何とかし
どうしたらいいんだろう？』そんな『思い』・『気づき』から、自分たちの住むまち
まずは最初の一步を踏み出してみましょ！



その問題 「どこか」じゃない、「私のまち」

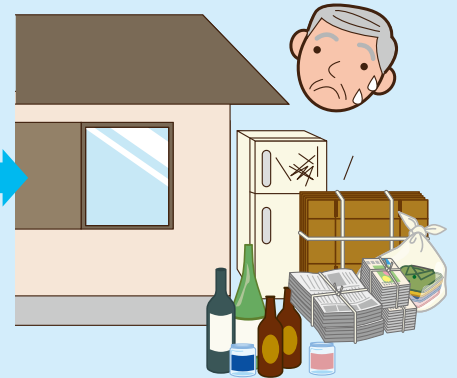
① 散歩が好きなAさんを見かけ
なくなったことを近所の方や
民生委員さんが心配し始める。民生
委員さんはAさんのお宅に顔をだし、
「大丈夫？」と声掛け。Aさんは「大
丈夫…」だけの返事。
…でもなんだか心配。



② Aさんは奥様に先立たれ、生
きがいもなくし、他者を拒否。
「自分たちは何をしたらいいのかわ
からない」と民生委員さんは社協に
相談。



③ その時Aさんの自宅はゴミ屋
敷状態。年金未申請。受診
の中断。入浴もせず、食事も満足に
摂れていないことがわかる。



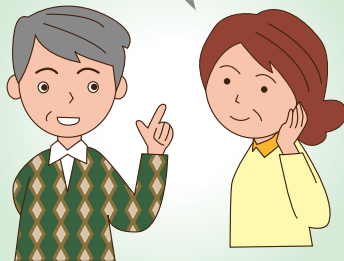
地域の問題ってなんだろう？

男性高齢者の居
場所って、なか
なかないよね

近所にゴミがたくさ
ん溜まっていて、誰
とも関わっていない
家があるのよ

組（自治会）に入
らない人が増える
とどうなっちゃう
んだろう？

認知症のお母さん
と障害のある息子
さんの2人暮らしっ
て大丈夫かな？



大きな震災が
起きたら大丈
夫かな？

普段、何げなく生活している中でこのような身近な問題があります。
それは、その地域特有の問題だったり、どの地域にも共通した問題だつたり
します。そうした問題を広く「地域の問題」と捉えています。



自分たちの住むまち 一番

それは、あなた自身の「気づき」で
や、地域で気になるところを発見し、
よりも大切です。そういった気づきや
くする活動を具体的に進めていく。

そんな人々の「気づき」から最初
の一步がはじまり、それが地域全体
を巻き込む活動に発展してきてい
ます。

このように『気づき』の意識を高め
暮らすことのできる住民参加の南アル

南アルプス市社会福祉協議会は地域住民1人ひとりの声に耳を傾け、早期発見から公
ぜひ皆さん地域に目を向け、その『気づき』を相談して下さい。そして、私たちと

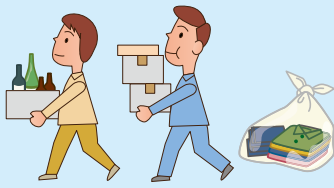
～あなたの気づきが最初の一歩～



たいけれど、一人では思うようには進まないし、解決しそうにない。
を良くする活動は始まります。あなたの『気づき』は大切です。

のこと。～南アルプス市での現実の事例～

- 4** まずは、地域の方々とゴミの片づけ。同時進行で年金の申請を行い、生活の安定を図る。



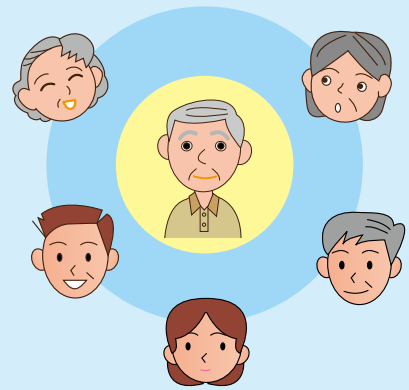
生活が安定すると受診もできるようになった。介護保険を使い、栄養バランスの良い食事摂れるようになった。



- 5** そして今!!
Aさんは好きな散歩にも出かけるようになり、地域の方々は「元気け～」の声掛けと見守り。地域の活動にも積極的に参加するようになった。



- 6** 「最近見かけないね」の地域の方の気づき。それがなかったらAさんは…今頃…。



を良くしていくのに、大切なものは…?

です。普段の暮らしの中で、自分の住むまち
そこでの問題を解決したいという思いが、何
の思いを人に伝え、みんなで自分の地域を良



そうだ!
気づいたら、私の
身近な所に相談す
ればいいんだ!

ることで、地域は活性化し、誰もが安心して
アルプス市となります。

川村岳人先生からの ワンポイントアドバイス

○健康科学大学 福祉心理学科 准教授



最初の一歩を
ふみ出すために…

あらゆる地域福祉の活動は、「気づき」から生まれるといっても過言ではありません。特にいまは地域の中で孤立する人が増えているため、「気づき」はこれまで以上に重要になっているといえます。

住民の皆さまは日々、地域に根ざして暮らしているからこそ、いろいろなことに気づくことができる状況にあります。ぜひ地域に、より多くの関心を払ってみてください。また、何か気づいたときにはひとりで抱えこまず、社協をはじめとする専門機関に情報を提供してください。

公的な機関へつないだり、解決へと導く仕組みを作る活動をしています。
一緒に地域の問題について考えて下さい。



災害時に大切なことは…!!

私たちの住む山梨県では、近い将来に東海地震が起こればと考えられています。この地震前回の地震から既に160年以上経過しているのが現状です。東海地震が起これば南アルプスまた、近年では温暖化などの環境変化により地震以外にも様々な自然災害が発生している

近年の主な災害

東日本大震災



平成23年3月11日に発生し、マグニチュード9.0と、これまでに経験したことのない大きな揺れや巨大津波をもたらし、太平洋沿岸部に壊滅的な被害が発生。15,000人を超える尊い命や暮らしが一瞬で失われました。現在も仮設住宅で暮らす避難者が多数います。

山梨県の雪害



平成26年2月、観測史上最深の積雪量を記録。交通網の分断や流通の遮断等により県全体が「陸の孤島」となりました。
当社会福祉協議会では雪害救援センターを立ち上げ、市内外からボランティアを受け入れ、高齢者、障がい者宅の雪かき等の救援活動が行われました。

関東・東北豪雨



平成27年9月、想像をはるかに超える大雨により鬼怒川等80ヶ所以上の堤防が決壊、越水などで建物の倒壊や水没、浸水被害が起きました。
死者、負傷者も出ており、住む家をなくした方や、がれきや泥で生活が出来なくなった方も多数います。

災害ボランティアセンターについて

大規模災害の発生に伴い、被災地支援のために市内・県内・全国各地から集結するボランティアの皆さんの受け入れを行なうとともに、被災者や避難所等から要請のあるニーズ(困りごと)を把握して、ボランティアの皆さんを派遣するための需給調整を行ないます。

南アルプス市社会福祉協議会においては平成26年2月の雪害時に『雪害救援センター』の名称で初めて設置されました。また東日本大震災や関東・東北豪雨時には、全国に広がる社会福祉協議会のネットワークを通じ、現地に設置される災害ボランティアセンターへと職員及びボランティアの派遣を行ってきました。

災害時には大勢のボランティアの皆さんの協力が復旧、復興に向けた大きな力になります。



～普段のお付き合いから生まれる「絆」を大切に～

は、100年から150年の周期で起こる地震と言われていますが、市内全域は震度6強の被害が想定されています。為、市内でも常に警戒が必要です。



地域住民のつながりの重要性、取組について

災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や市町村などが取り組む「公助」があります。

その中でも当社会福祉協議会では特に、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」が重要だと考えております。

発災直後は「公助」はあてにできず、地域住民が互いに協力し合いながら災害に対応しなければなりません。しかし、日頃近所付き合いのない人が、災害発生直後に地域住民と急に親しくなることは難しいものです。

日頃から地域住民が連帯し、協力し合える関係を作っていくことが大切です。



災害発生時の役割分担の明確化

災害時に「誰が何をするのか」「誰が誰をサポートするのか」など、役割を明確にすることが大切です。全ての住民が「地域のためにやるべきことがある」という意識を日頃から持つことが重要です。また災害時には「助けられる人」もしくは「助ける人」どちらにも成り得ます。

ぜひ災害を身近に、そして自分事として考えて「助ける人」になってください。一人が変われば周りも変わり、その輪は地域にも広がります。普段の生活のなかで関係の良い地域は、災害の時も力を発揮し復旧復興も早いのが現状です。もう一度自分の住んでいる地域のことを考え、「顔の見える、名前が分かる」関係づくりを目指しましょう。

社会福祉協議会における災害・防災への取り組み



各種訓練（災害ボランティアセンター）



防災出前講座



防災ボランティアスクール



南アルプス市災害・防災ボランティア地区連絡会



防災意識啓発活動

一人ひとりが防災意識を持ち、災害時だけでなく、普段からのお付き合いから生まれる「絆」を大切に、防災事業を行っています。

慈恵寮日記

11月5日、山梨ヤクルト販売(株)様の地域貢献の一環として、紹介を受けた小笠原幼稚園の年長児のみなさんによるマーチング演奏が慈恵寮の中庭で行われました。当日は、色々な楽器を手に歌手の絢香さんの代表曲である「にじいろ」「360°」「にじのむこう」の3曲が演奏されました。

可愛い園児のみなさんが一生懸命に楽器の演奏をしている姿に入所者や地域のみなさんはとても感動し、アンコールの声もかかり、大いに盛り上がりました。

演奏後には、握手をするなどふれ合い、笑顔が絶えない時間となりました。幼稚園との交流が出来たことでまたひとつ楽しい思い出ができました。



園児によるマーチング演奏の様子

善意によるご寄附 ありがとうございます

●ご寄附いただいた金品は貴重な財源として社会福祉事業推進に役立たせていただきます。(順不同)
(平成27年6月1日～平成27年12月31日までのご寄附)

- 一般社団法人南湖報徳社 様100,000円
- 匿名30,000円
- 百々八区二桁会 代表 進藤吉男 様.....10,000円
- 南アルプス市体育協会社交ダンス部 代表 深沢完治 様...50,000円
- 匿名20,000円
- マックスパリュ東海(株) 様車椅子1台
- 櫛形環境とリサイクルの会 様50,000円、トイレトーパー2箱
- 明るい社会づくり協議会櫛形支部 会長 加藤庄八 様.....50,000円

- 匿名200,000円
- トヨタ自動車東日本労働組合 様36,207円



トヨタ自動車東日本労働組合 様



櫛形環境とリサイクルの会 様

評議員の紹介

12月に開催された理事会・評議員会において次の方が評議員に選任されました。
(任期 平成29年3月31日まで) 敬称略
【評議員】 市全域 久保 志津子

【訂正とお詫び】

平成27年11月15日(日)に開催致しました「第12回南アルプス市社会福祉大会」当日にお配り致しましたプログラムに記載の誤りがありました。ここに謹んでお詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

◎社会福祉活動功労

<誤> 録音・朗読ボランティアはなみずきの会 白根地区 → <正> 録音・朗読ボランティアはなみずきの会 八田地区

◎福祉ポスター入賞者



<誤>
入選 櫛形中学校3年 熊谷 真衣
<正>
入選 櫛形中学校3年 熊谷 真理衣



<誤>
佳作 小笠原小学校4年 樋泉 柚杏
<正>
佳作 櫛形北小学校4年 深澤 留伽



<誤>
佳作 櫛形北小学校4年 深澤 留伽
<正>
佳作 小笠原小学校4年 樋泉 柚杏

社協について
ご意見ご感想をお寄せください

〒400-0337 南アルプス市寺部659
南アルプス市社会福祉協議会「社協 意見・感想係」
e-mailでも受け付けます。
info@minami-alpsshakyo.or.jp

【発行】

社会福祉法人 南アルプス市社会福祉協議会
〒400-0337 山梨県南アルプス市寺部659
TEL055-283-8711(代) FAX055-283-4167
URL http://www.minami-alpsshakyo.or.jp/

